

世界小型株厳選ファンド

今お伝えしたい当ファンドの魅力



平素より「世界小型株厳選ファンド」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

本資料では当ファンドの実質的な運用を担当するスタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッド（以下、スタンダード・ライフ）からの情報を基に、当ファンドの魅力について、足元の市場環境や運用状況とあわせてご報告いたします。

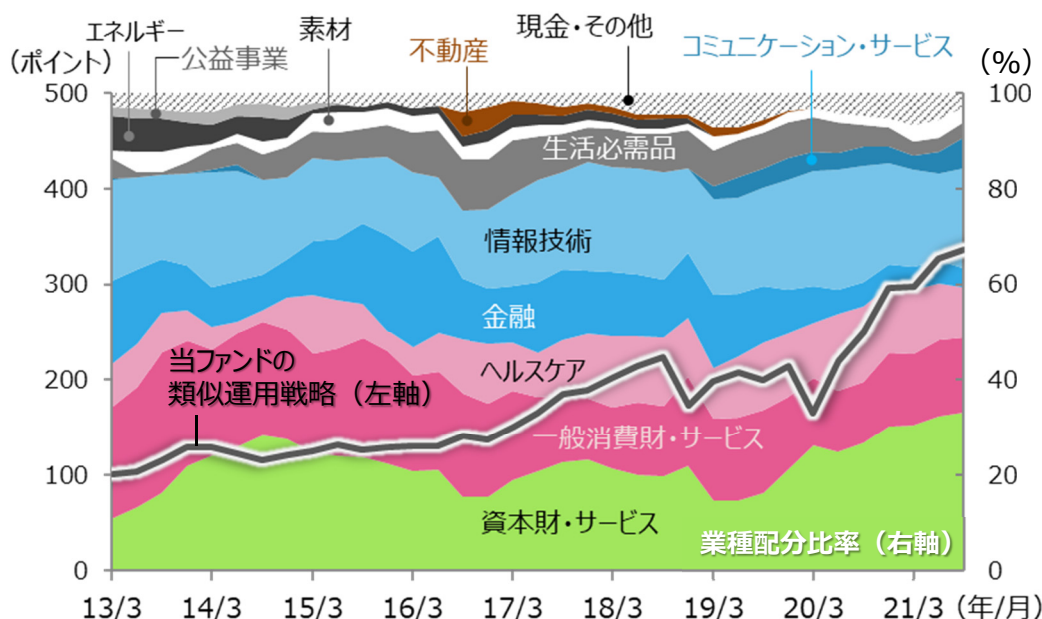
当ファンドの魅力 3つのポイント

1. 過去の金利上昇局面では良好なパフォーマンス
2. 高い投資効率を維持
3. 約7割を占める非テクノロジー企業が特にパフォーマンスに寄与

当ファンドの特徴

- ・ 当ファンドの運用は、**クオリティ、グロース、モメンタム、バリュエーション**に着目しつつ、中長期の投資を念頭に置き、**特定の市場で成長ストーリーが描けるグローバル・ニッチ企業**を選び抜く点が特徴のひとつです。
- ・ スタンダード・ライフが運用を行う世界小型株運用戦略（以下、当ファンドの類似運用戦略）は、**中長期的に市場をリードすると期待される分野**にも投資しています。

＜当ファンドの類似運用戦略の業種別配分推移＞
(2013年3月末～2021年9月末、四半期ベース)



＜ご参考＞
注目分野の例

DX・テクノロジー

ライフスタイルの変化

ESG/SDGs

(注1) 業種は世界産業分類基準（GICS）。

(注2) 当ファンドの類似運用戦略のパフォーマンスは、スタンダード・ライフが運用する、当ファンドの類似運用戦略の運用実績（運用報酬控除前、米ドルベース、2013年3月末を100として指数化）であり、当ファンドの運用実績ではありません。

(出所) abrdn（アバディーン）のデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

魅力① 過去の金利上昇局面では良好なパフォーマンス

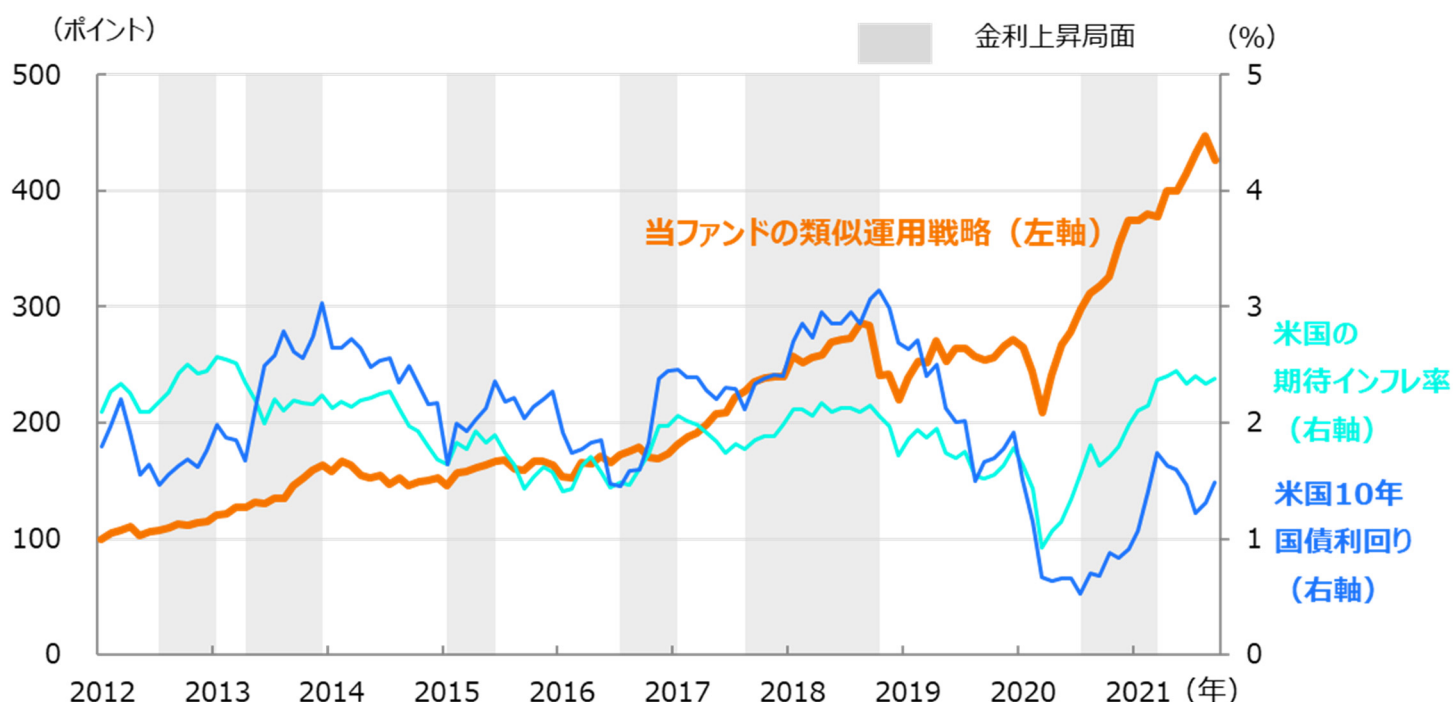
- 米国では、物価上昇を背景とする利上げ予想の織り込みが進んでおり、今後10年の市場の物価見通しを示す**期待インフレ率は高止まりした状態**です。足元のインフレ率の高止まりは一時的とみていますが、期待インフレ率の上昇や金利上昇を背景に株価が大きく振れる局面が懸念されます。
- 当ファンドの類似運用戦略は、**過去の金利上昇局面でも概ね良好なパフォーマンスで推移**してきました。金利上昇局面では、株式は売られる傾向にありますが、**明確な事業戦略を持ち、価格決定力**があり、外部環境に左右されずに質の高い持続的な成長が期待される企業は、足元のバリュエーション（企業価値評価）が相対的に高くても、中長期的には魅力的な銘柄であると考えています。

＜足元のインフレ率の高止まりの背景＞

1. コロナ禍で2020年半ばの消費者物価が下振れたことによる反動
2. 資源価格の上昇
3. 給付金支給などの財政拡大
4. 積み上がった貯蓄による支出増
5. サプライチェーンの正常化遅れ
6. 労働者需要の増大と人手不足に伴う賃金上昇の可能性

など

＜当ファンドの類似運用戦略のパフォーマンス等＞ (2012年1月末～2021年9月末、月次)



(注1) 米国の期待インフレ率は10年利付国債の流通利回りから10年物価連動国債の流通利回りを差し引いた値で、今後10年の市場の物価見通しを示すインフレ率（ブレイク・イーブン・インフレ率）です。

(注2) 当ファンドの類似運用戦略のパフォーマンスは、スタンダード・ライフが運用する、当ファンドの類似運用戦略の運用実績（運用報酬控除前、米ドルベース、2012年1月末を100として指数化）であり、当ファンドの運用実績ではありません。

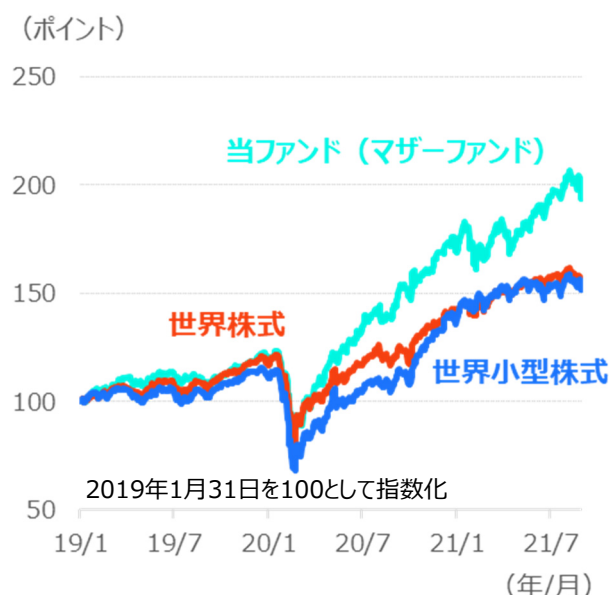
(出所) abrdn、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

魅力② 高い投資効率を維持

- 当ファンドが運用プロセスで重視するクオリティは、**リターンの向上とリスク（値動き）の抑制**を目指すものです。高くオリティ企業は、持続的な高い成長性（リターンの向上）と財務基盤等の安定性（リスクの低減）の両方をあわせ持つという考えに基づいたものです。
- また、企業調査などを通じて独自の技術力や商品力などにより高い競争力を持ち、より広い地域や分野でも高いシェアを獲得できるグローバル・ニッチ企業に着目します。マザーファンドの**設定来のパフォーマンスが世界小型株式を上回って推移**してきた背景には、数多くの小型株式の中から優良な銘柄を効率的に絞り込んできたことなどが考えられます。
- マザーファンドのリスク・リターン特性をみると、世界小型株式や世界株式と比べ**投資効率**が**良好**です。当ファンドのシャープレシオ（リターン/リスク）は、直近1年で国内籍投資信託の**同じカテゴリーの中で1位**に位置しています。

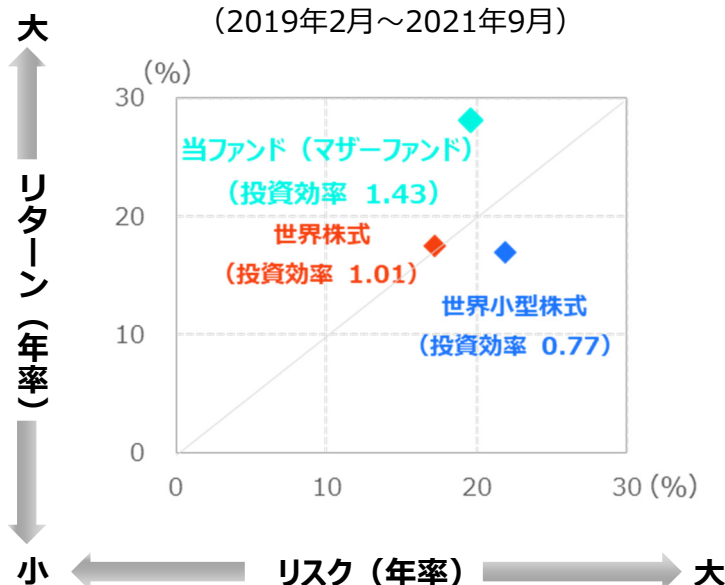
＜パフォーマンスの推移（米ドルベース）＞
（2019年1月31日*～2021年9月30日、日次）
*当ファンド設定日前日



＜当ファンドのパフォーマンス（1年）＞
（2021年9月末）

シャープレシオ	3.83
カテゴリー	2.26
+/-カテゴリー	+1.57
順位	1位
%ランク	1%
ファンド数	304本

＜リスク・リターンの比較（米ドルベース）＞
（2019年2月～2021年9月）



（注1）世界小型株式はMSCI AC World Small Cap Index（配当込み）。世界株式はMSCI AC World Index（配当込み）。いずれも当ファンドのベンチマークではありません。

（注2）当ファンドのパフォーマンス（1年）のカテゴリーはモーニングスター分類（国際株式・グローバル・含む日本（F））。シャープレシオはモーニングスターによる評価（シャープレシオ＝（トータルリターン－安全資産利子率）÷標準偏差）。評価基準日は2021年9月末。

（注3）リターン（年率）は累積騰落率を年率換算。リスク（年率）は月次騰落率の標準偏差を年率換算。投資効率はリターンをリスクで除した数値です。

（注4）マザーファンドに信託報酬はかかりません。

（出所）abrdn、モーニングスター、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

当ファンドの実質的な運用を担当するスタンダード・ライフからの情報を基に作成しています。

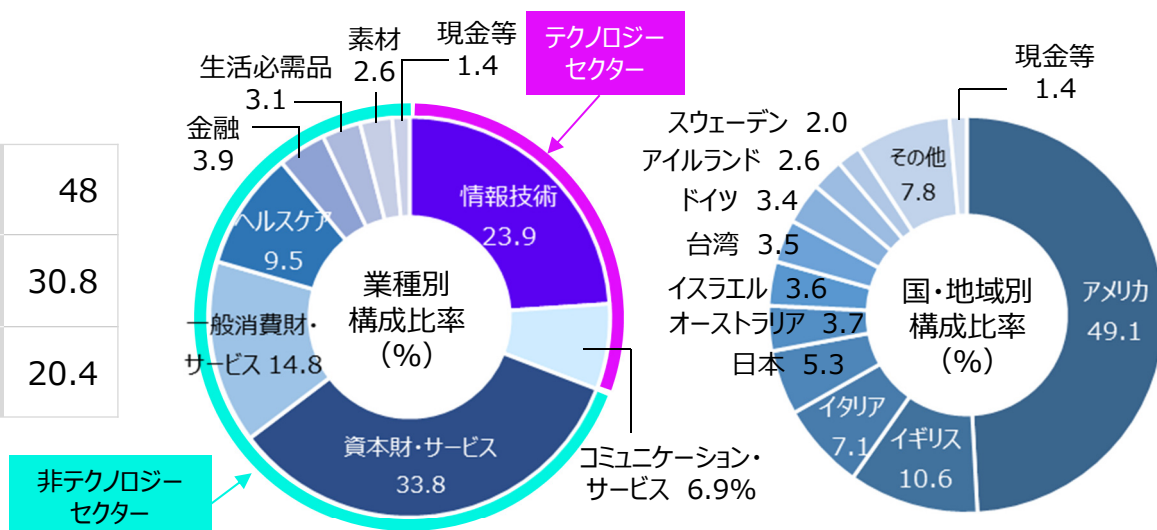
魅力③ 約7割を占める非テクノロジー企業が特にパフォーマンスに寄与

- 当ファンドは2021年9月末時点で、**テクノロジーセクターの組入比率が3割程度**となっています。
- ESG/SDGs分野で追い風の**資本財・サービス**や、ライフスタイルの変化で業績の拡大が期待される**一般消費財・サービス**や**ヘルスケア**などの組入銘柄が、パフォーマンスに寄与しました。

＜ポートフォリオ（マザーファンド）＞
（2021年9月末）

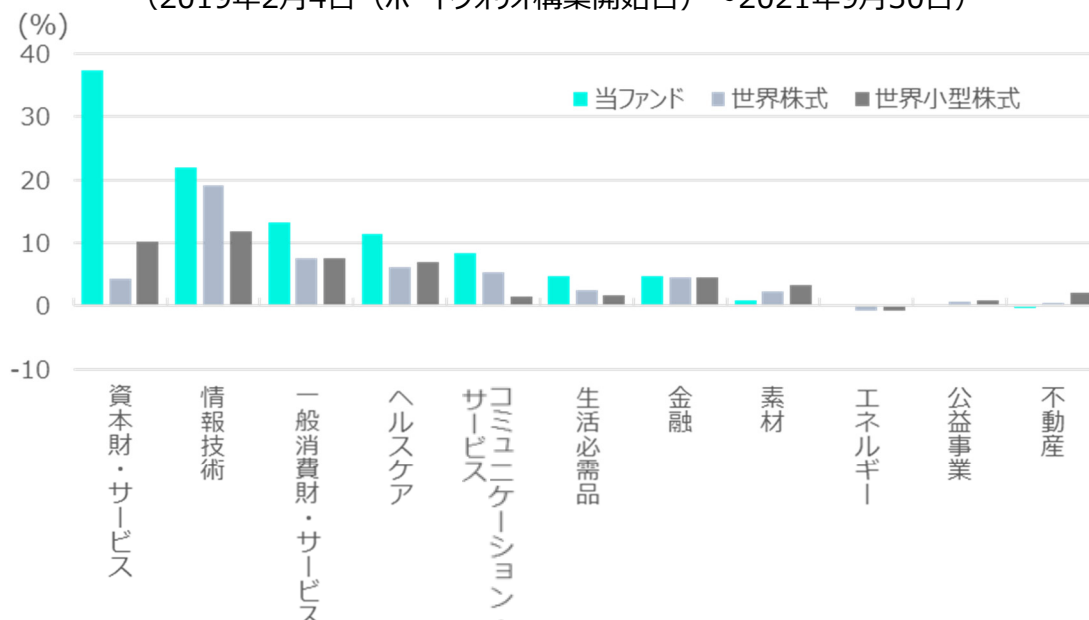
ポートフォリオ特性値

銘柄数	48
EPS成長率（%） （過去3年間）	30.8
ROE（%）	20.4



＜業種別パフォーマンス寄与度（米ドルベース）＞

（2019年2月4日（ポートフォリオ構築開始日）～2021年9月30日）



（注1）EPS成長率およびROEは、各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

（注2）業種別構成比率および国・地域別構成比率はマザーファンドの純資産総額対比。四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。業種は世界産業分類基準（GICS）。

（注3）パフォーマンス寄与度は当ファンドの保有残高に基づきBloombergにより分析。よって実際の当ファンドのパフォーマンスとは異なります。世界小型株式はISHARES MSCI WORLD SMALL CAP UCITS ETF（WSML LN）。世界株式はISHARES MSCI ACWI ETF（ACWI US）。いずれも当ファンドのベンチマークではありません。

（出所）abrdn、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

組入銘柄のご紹介①

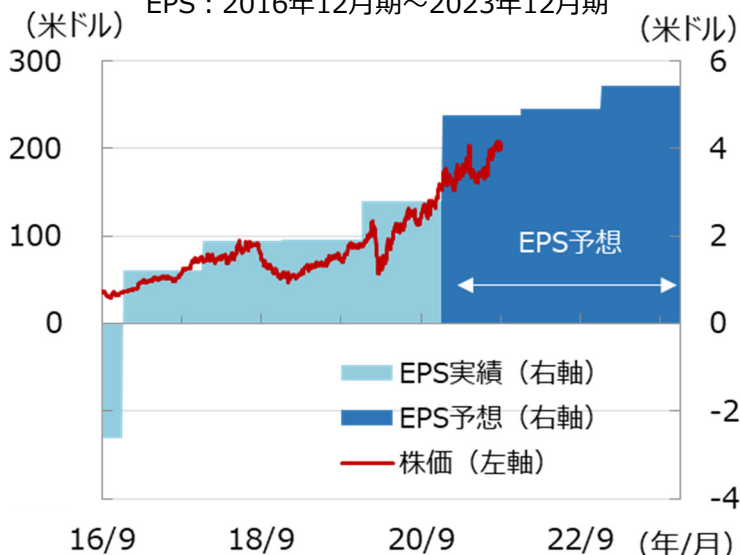
※下記の写真はいずれもイメージです。

サイトワン・ランドスケープ・サプライ（米国／資本財・サービス）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2016年9月末～2021年9月末、日次

EPS：2016年12月期～2023年12月期



- 米国最大級の園芸関連製品の販売会社。
- 強固な販売網を活用し、コロナ禍でも事業活動を継続することで、住宅環境の改善志向の高まりの恩恵を享受しています。
- 原材料費等の上昇によるコスト増を製品価格に転嫁できていることなどから、好調な業績が見込まれています。今後もM&Aの活用やカナダでの事業拡大などを通して成長が期待されます。

JMDC（日本／ヘルスケア）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2019年12月16日（上場日）～2021年9月末、日次

EPS：2020年3月期～2024年3月期



- 医療データ統計、生命保険データ統計、ヘルスデータ等のプラットフォーム運営会社で、日本全国で事業を展開しています。
- 健康保険組合の保険事業推進のためのデータ分析サービスなどのほか、医療データを製薬企業などでの活用に使役する事業を展開しています。保険者由来データベースに加え、医療機関由来データベースの利活用は同社の新たな成長ドライバーになると期待されます。

（注）業種は世界産業分類基準（GICS）。サイトワン・ランドスケープ・サプライの2021年12月期以降、JMDCの2022年3月期以降のEPSはBloomberg予想。

（出所）abrdn、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は2021年9月末時点の当ファンドの保有銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および将来の予想、当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

組入銘柄のご紹介②

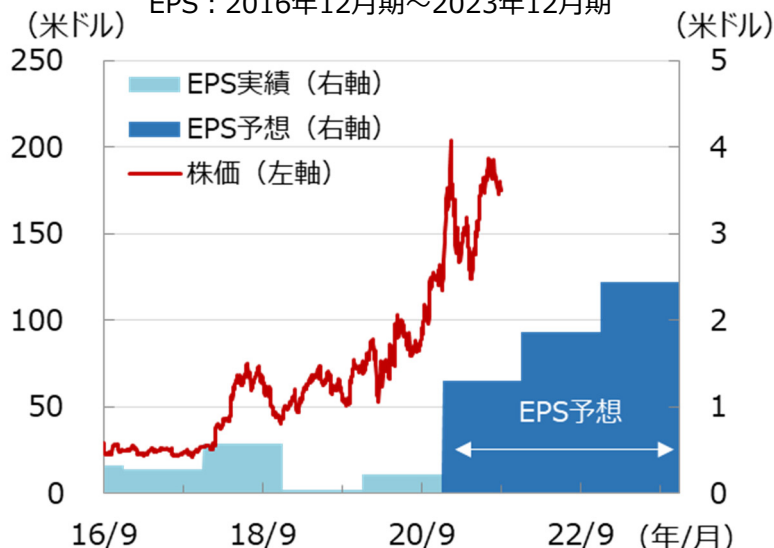
※下記の写真はいずれもイメージです。

アクソン（米国／資本財・サービス）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2016年9月末～2021年9月末、日次

EPS：2016年12月期～2023年12月期



- ウェアラブルカメラ等のセキュリティ装備品を開発・販売するグローバル企業。
- 製品の信頼性に基づく強固な関係を、米国および一部海外の主要法執行機関と築いていることが強みです。

コーニット・デジタル（イスラエル／資本財・サービス）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2016年9月末～2021年9月末、日次

EPS：2016年12月期～2023年12月期



- アパレル、テキスタイル業界向けの業務用デジタルプリントの開発、製造、販売分野のマーケットリーダー企業。
- デジタルプリントは現地生産、オーダーメイド、短期リードタイムを可能にし、さらに廃水がほぼゼロで二酸化炭素排出量が少ないことなど、従来に比べ環境に配慮した手法である点が魅力です。

(注) 業種は世界産業分類基準（GICS）。2021年12月期以降のEPSはBloomberg予想。

(出所) abrdn、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は2021年9月末時点の当ファンドの保有銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および将来の予想、当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

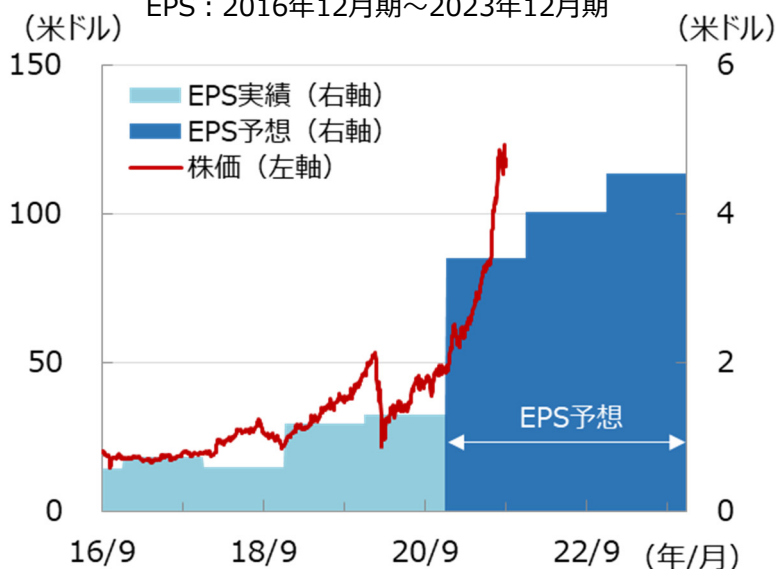
組入銘柄のご紹介③

※下記の写真はいずれもイメージです。

パーフィシエント（米国／情報技術）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2016年9月末～2021年9月末、日次
EPS：2016年12月期～2023年12月期

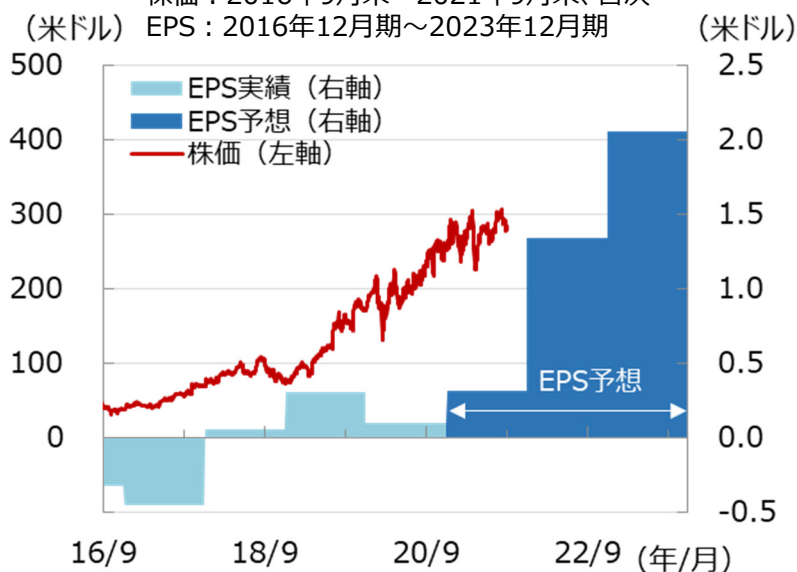


- 米国のITコンサルティング会社。同社のソリューションは、事業統合、コンテンツ管理、生産性向上、顧客管理、およびIT関連費用の削減などを目的に開発、提供されています。
- 強固なキャッシュフローを誇る同社はDX（デジタル・トランスフォーメーション）の恩恵を受けるとみられ、海外子会社を有効に活用することで営業マージンのさらなる改善が期待されます。

インシュレット（米国／ヘルスケア）

＜株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞

株価：2016年9月末～2021年9月末、日次
EPS：2016年12月期～2023年12月期



- 糖尿病患者向けのインシュリン投薬用器具および投薬管理システムの開発、製造、販売を手掛ける医療機器メーカー。
- 使いやすく革新的なインシュリン投薬注射器の開発におけるマーケットリーダーです。

（注）業種は世界産業分類基準（GICS）。2021年12月期以降のEPSはBloomberg予想。

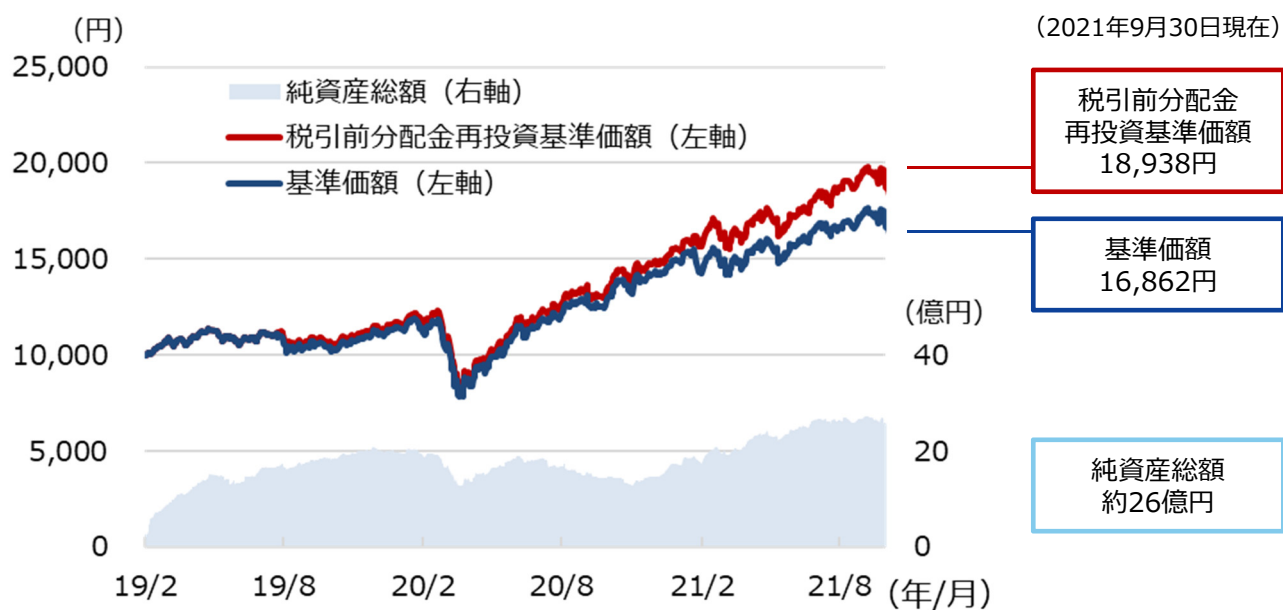
（出所）abrdn、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は2021年9月末時点の当ファンドの保有銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および将来の予想、当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

当ファンドの実質的な運用を担当するスタンダード・ライフからの情報を基に作成しています。

基準価額と純資産総額の推移 <2019年2月1日（設定日）～2021年9月30日>



(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

（ご参考）注目分野の例

DX・テクノロジー



オートメーション（自動化）

デジタル化

オンライン・プラットフォーム

クラウド・コンピューティング

フィンテック

ライフスタイル

ライフスタイル
の変化

将来の輸送・交通手段

ヘルスケア（メドテック）

ESG/SDGs

グリーン・イニシアティブ
（脱炭素、気候変動対応）食糧問題
（フード/アグリテック）

（出所）abrdnの資料を基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは11ページをご覧ください。

ファンドの特色

- マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株式を実質的な主要投資対象とします。
 - ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析により、投資魅力のある銘柄に厳選投資します。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - 当ファンドは、「世界小型株厳選マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
- マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッドへ委託します。
- 毎年1月、7月の25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として分配を目指します。
 - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株価変動に伴うリスク

株価は、発行企業の業績や市場での需給等の影響を受け変動します。また、発行企業の信用状況にも影響されます。これらの要因により、株価が下落した場合、ファンドの基準価額も下落するおそれがあります。

■ 為替リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて外貨建資産に投資するため、為替変動のリスクが生じます。また、当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、その資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ カントリーリスク

投資対象となる国と地域によっては、政治・経済情勢が不安定になったり、証券取引・外国為替取引等に関する規制が変更されたりする場合があります。さらに、外国政府が資産の没収、国有化、差押えなどを行う可能性もあります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

新興国は、先進国と比べて経済状況が脆弱であるとされ、政治・経済および社会情勢が著しく変化する可能性があります。想定される変化としては、次のようなものがあります。

- 政治体制の変化
 - 社会不安の高まり
 - 他国との外交関係の悪化
 - 海外からの投資に対する規制
 - 海外との資金移動の規制
- さらに、新興国は、先進国と比べて法制度やインフラが未発達で、情報開示の制度や習慣等が異なる場合があります。この結果、投資家の権利が迅速かつ公正に実現されず、投資資金の回収が困難になる場合や投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない可能性があります。これらの場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ 信用リスク

株式の発行企業の財務状況等が悪化し、当該企業が経営不安や倒産等に陥ったときには、当該企業の株価は大きく下落し、投資資金が回収できなくなることもあります。この場合、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ 流動性リスク

実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等は、当該有価証券等の流動性に大きく影響します。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることとなったり、デリバティブ等の決済の場合に反対売買が困難になったりする可能性があります。その結果、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

投資リスク

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

2029年1月25日まで（2019年2月1日設定）

決算日

毎年1月、7月の25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨーク証券取引所の休業日
- 英国証券取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.936%（税抜き1.76%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 【受付時間】午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 スタンダード・ライフ・インベストメンツ・リミテッド

販売会社（2021年11月15日現在）

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会 （第二種）	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○		○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		※1
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○		○	○		
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		※1
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第199号	○					

備考欄について

※1：金融商品仲介業者経由のみでのお取扱いとなります。

【重要な注意事項】

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2021年9月末